

本時のねらい

- ・平和について、資料での調べ学習や聞き取り学習などで得た情報を整理したり、表現方法を工夫したりしてまとめることができる。
- ・まとめたことを ZOOM で他校の児童に伝え、交流することで、平和学習についてより深く理解できる。

本時における 1 人 1 台の活用方法とそのねらい

- ・自分の発表を録画して、友だちと見合うことで客観的に振り返ることができるようにする。
- ・Google スライドで作成することで修正などをその場で容易に行えるようにする。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイロノートスクール
- ・ Google スライド
- ・ プロジェクタ
- ・ スクリーン

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを確認する。 「交流会に向けて、発表内容をよりよいものにしよう」 ○発表の留意事項を確認する。 ・発表内容が 1 人 2 分程度に収まっているか ・聞き手を意識した発表となっているか ・スライドが見やすい内容になっているか 	
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時に録画したグループの発表動画を視聴する。 ○グループで改善点について話し合う。 ○話し合った意見を参考に内容の修正を行う。 ○修正した内容で録画を行う。 【写真 1】 ○録画した自分の発表を聞きなおす。 【写真 2】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートスクールの共有ノートを使ってグループの動画を視聴する。 ・留意事項の 3 点を意識して他の人の動画を視聴するよう声掛けする。 ・発表の留意事項に沿って、スライド資料や発表原稿の内容を修正する。(文字の色・資料の内容・文字の量など) ・自分の発表をタブレット端末で録画する。イヤホンマイクを使い全員が同時に行う。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○次時の見通しを持つ ・次時では、Zoom アプリを使ってオンラインで他校の児童に修学旅行の報告をする予定であることを伝える。 【写真 3】 	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】
自分の発表をタブレット端末に画面収録している様子



【写真 2】
作成したスライドデータ (左側に相手が見るスライド、右に自分が読む原稿が表示される)



【写真 3】
「Zoom」を用いて、交流会を行っている様子

児童生徒の反応や変容

- ・Google スライドのノートに原稿を書いて見られることで、スライドを写真だけやポイントだけの短い文章にまとめることができた。
- ・自分の発表を収録し、聞き直すことで話し方などの工夫も行うことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・「ZOOM」で修学旅行先の違う他校の 6 年生に発表することで、広島や原爆の事をよりていねいに伝えようとする意識づけになった。
- ・スライド作成だけでなく、音声を入れて収録し、本番の聞き手と同じものを見ることで客観的に自分の発表をとらえることにつながった。
- ・「ZOOM」の画面共有などアプリの使い方の練習を事前にしておくと発表がよりスムーズになる。